

ねむろトピックス

瑠璃瑠保育園のおともだち

夢・ままきくなった



たざわ こうたろう
田沢 浩太郎くん（4歳）
“車屋さん”になりたい



なかむら のあ
中村 望愛ちゃん（5歳）
“ダンスの先生”になりたい



しばた とわ
柴田 時我くん（5歳）
“セブンイレブンの店員さん”になりたい

DREAM



1月25日、市営アイスホッケーリンク・育成協リンクで「第24回根室市子ども長靴アイスホッケー大会」が開催され、氷上では児童たちの熱戦が繰り広げられました。



2月7日、総合文化会館で“2009「北方領土の日」根室管内住民大会”が多くの人島民や市民・管内住民らが参加し開催されました。式典の後管内中学生による弁論大会やアトラクションが行われ、最後には参加者全員で「島を返せ」と返還への怒り込めたシュプレヒコールが行われました。

図書館

図書館の行政効果って?!

「おれ、自慢じゃないけど、子どもの時から勉強嫌いだったんだわ。本なんて読まなかったし。そのおれがこの歳になって、図書館から本借りたり、もの調べたりするなんてね！今は、テレビを見るのと図書館に来るのが仕事さ」と、帰り際、やわらかい表情でその声をかけてくれたAさん。「次の図書館だよりに、そのうれしい言葉を紹介させていただいてもいいですか」と話すと、「おれも、出世したもんだな」と明るく笑ってくれました。

折にふれて、市民の皆さんが図書館に持たれるイメージや日ごろの思いを、お伝えいただくことがあります。叱咤激励（しつたげい）いずれも、活動への貴重なご意見と得難い（とくがた）ご示唆（しそく）です。私たち図書館職員は、本を読むことや多様な情報を得ることが、日々の生活と生きるうえで大きな支えと力になることを確信し、仕事をしています。そして、それを、より豊かに実現することを日々求められています。しかし、市民皆さんにとって、なかなか目に見えた形（数値）で計れない図書館の行政効果かと思えますが、一つの評価値があります。年間の図書館予算（総経費）と図書貸出数などから算出する市民還元額数値ですが、昨年度その値が一億六千七百万円相当で、市民一人当たり五千五百円の還元値となります。

図書館サービスのこうした捉え方も踏まえ、何よりも、日々皆さんに実感いただく、図書館の存在感と効果が大切と考えています。

司書 松永 伊知子

